

レジメン名称(パクリタキセル(d1,8,15)+ベバシズマブ(d1,15) q4w) 乳癌

ID 患者氏名 様 (性別)

身長 cm 体重 kg 年齢 歳 体表面積 m²

薬剤	投与量	投与日 1 コース 4 週間			
		Day 1.....8.....15.....22.....29			
パクリタキセル	90 mg/m ²	↓	↓	↓	
ベバシズマブ	10 mg/kg	↓		↓	

レジメンオーダー以外に必要な処方

パクリタセキル投与日：レスタミン 5 錠 1× 化学療法時 1 回分

ベバシズマブ：尿タンパク測定

注意事項

パクリタキセル：アルコール過敏の確認。アルコール含有のため、外来施行時、運転等での来院について確認、注意すること。

パクリタキセルは起壊死性抗がん剤です。血管外漏出に特に注意してください。

乳腺外科時：パクリタキセル投与時、手足に弾性ストッキングを使用

パクリタセキル初回および 4 週以上あいた時：心電図モニター、BP、HR 測定、全身状態の観察が必要（詳細は下記参照）

投与方法：1、8、15 日目	
1	生食 100mL ケモセーフロック (フィルター付き) の点滴セットを使用 メインルートにつなぎ、プライミング 点滴筒 (チェンバー) を 3/4 程度満たす
2	レスタミン(10mg) 5 錠 内服
3	デキサート(3.3mg/1.0mL) 2A、デキサート(1.65mg/0.5mL) 1A、ファモチジン(20mg/20mL) 1A、生食 30 mL 5 分以上かけて点滴、メインルートから投与
4	生食 50mL 30 分かけて点滴、メインルートから投与 終了後、メインルートを止める
5	パクリタキセル mg、生食 250 mL 60 分かけて、ケモセーフロックのルートより投与 乳腺外科時：パクリタキセル投与時、手足に弾性ストッキングを使用 初回および 4 週以上あいた時、下記を実施 心電図モニター 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：BP、HR 測定 投与前、5 分後、15 分後、30 分後、終了時後：全身状態の確認（呼吸苦、悪寒、発疹、掻痒感、気分不良、嘔気）
6	生食 100mL メインルートから ゆっくりウォッシュアウト、約 15 分、残破棄可 day8 はここで終了
7	(ベバシズマブは day1,15 のみ、day8 なし) ベバシズマブ mg、生食 100mL 90 分、（問題なければ）次は 60 分、（問題なければ）以降 30 分、メインルートから投与 注意：点滴時間は前回投与から 8 週以上経過している時は 90 分で投与（初回扱い）
8	(ベバシズマブは day1,15 のみ、day8 なし) 生食 100mL メインルートから、ゆっくり、ウォッシュアウト 適宜途中終了可、残は破棄